



再開発計画の見直しが発表された名鉄名古屋駅周辺



名古屋駅周辺の再開発

愛知県名古屋市の玄関口である名古屋駅。駅周辺で大規模な再開発が計画されてきましたが、事業を担う名古屋鉄道(名鉄)が昨年12月、計画内容を大幅に見直しと発表しました。今後、どうなってしまうのでしょうか。

再開発を予定している名古屋駅(名古屋市中村区)周辺には現在、名鉄百貨店本店や名鉄グランドホテル、名鉄バスセンターなどが入居する六つの建物が並んでいます。

昨年3月に名鉄が発表した計画では、6棟を2026年度までに全て取り壊

人手不足などで計画見直し

名鉄の高崎裕樹社長は会見で「このような事態に直面するとは全く想定しておらず、無念の思いでいっぱい」と話す一方、「計画を白紙にするわけではない」と強調しました。

一部は営業続ける

計画の見直しの理由は、工事に必要な人手の不足と、資材の価格の上昇です。また、鉄道の運行を止めずに駅で工事を進めるには高い技術が必要で、ビルを建設できる企業も限られています。昨年11月、辞退した業者側が名鉄に示した工事費の見積もりは、昨年5月での見積もりに比べて2倍に増えていました。

27年度にビルの建設を開始。オフィスや高級ホテルが入るビルなど大部分が33年度には完成し、40年代前半に全面開業する予定でした。

計画の見直しを受けて、3月22日に閉館するとしていた名鉄グランドホテルは、予定を変えて3月22日以降も営業を続け、宿泊できることになりました。名鉄バスセンターも、これまで通り使われることになりました。名鉄百貨店の本店は2月28日で営業を終了しますが、一部の階を商業活動に活用する方針です。

都市部で進む再開発計画は近年、人手不足や資材の急激な高まりを受けてストップする事例が相次いでいます。名古屋駅と同じく、名鉄が名鉄岐阜駅周辺で検討している商業施設などの再開発計画も、具体的な時期は未定になっていることが分かりました。

各地で計画中断

東海地方の経済に詳しい三菱UFJリサーチ&コンサルティングの塚田裕昭主任研究員は、「今後、一気に人手不足が解消したり、資材の価格が下落したりすることはなかなか考えにくい。事業費が高くなることを前提に、採算に合わせた計画の立て直しが求められる」と話しています。名鉄は今後、名古屋駅周辺の再開発について、26年度中に新たな方向性をまとめるとしています。



1 NEWS OSAETOKO! 2026年1月24日
観光庁がピクトグラム
観光庁は、全国で相次いだクマ被害を受け、クマへの餌やりやごみの放置などの禁止行為を知らせるピクトグラム(絵文字)=イラスト=を作成しました。登山やハイキングなどを楽しむ人が増える中、一目で分かる図柄で外国人や幅広い年齢層への注意喚起を強化します。
ピクトグラムは3種類で、観光庁のホームページから無料でダウンロードできます。クマに餌を与えたり、近寄ったりする人の姿に赤い斜線を引き、禁止行為であると強調。ごみのポイ捨てでクマが出現しやすくなることも、絵で分かりやすく表現しました。

2 NEWS OSAETOKO! 2026年1月24日
衆議院解散 選挙へ
高市早苗総理大臣(首相)は19日、記者会見し、衆議院を解散して選挙を行うと表明しました=写真。投票日は2月8日です。高市首相は「国民と一緒に日本の進路を決めるための決断」と語りました。しかし、野党からは「解散の大義名分がない」と批判も上がっています。一方、立憲民主党と公明党は、新党「中道改革連合(中道)」を結成しました。「生活者ファースト」を掲げ、食料品の消費税ゼロなどを訴えています。自民党など与党も前向きな姿勢を示しており、選挙の争点になるかは不透明です。

3 NEWS OSAETOKO! 2026年1月24日
イラン
ペルシャ湾に面した中東の国。昨年12月末から今月半ばにかけて、首都テヘランを中心に政府への大規模な抗議デモが広がりました=写真。AP・共同。デモは、物価高による経済悪化に不満をもった商人たちによって始まり、各地に拡大。イラン政府は厳しく抑え込む方針をとり、一時はデモの参加者と治安部隊が衝突。イランではインターネットの接続が止められており、正確な状況はわかっていません。アメリカの人権団体によると、1月17日までの死者は3千人を超え、2万4千人以上が捕らえられました。

